

解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい

〔 I 〕 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

10世紀から11世紀の西ヨーロッパでは、新たな社会秩序として①荘園制を経済的基盤とする封建社会が形成された。封建社会では、主君と家臣は一定の契約関係で結ばれており、これを②封建的主従関係という。

こうした封建社会では当初は現物経済が中心となっていたが、11世紀から12世紀にかけて③農業生産が上昇し始め、しだいに商業活動も活発となり貨幣経済がさかんになる。十字軍の影響で交通が発達し、遠隔地貿易を行う都市が現れた。主な商業圏としては、ヴェネツィア・イなどの北イタリアの港市や、内陸のミラノ・フィレンツェなどを含む地中海商業圏と、北海・バルト海周辺の④北ヨーロッパ商業圏がある。こうした⑤南と北の両商業圏の間にある内陸の諸都市も繁栄した。

中世の西ヨーロッパ諸都市は、商業活動によって得た経済力を背景として、しだいに政治的な力を増し、自治権を獲得し始めた。こうした都市の運営や秩序形成を担ったのは、同業組合としての⑥ギルドである。ギルドは当初、大商人などの特権階層から構成された商人ギルドであったが、後に手工業者の親方たちがロと呼ばれる同職ギルドを結成し、これに対抗するようになった。また、当時のドイツやイタリアで見られたように、有力な都市は相互に同盟関係を結び共通の利益を守った。

〔語 群〕

- イ a. トリノ b. ジェノヴァ c. ナポリ d. アッシジ
ロ a. コムーネ b. ギベリン c. ツンフト d. ゲルフ

〔問 い〕

- ①荘園制に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 荘園には、農民保有地、領主直営地、共同利用地があった。
 - b. 農奴は移動の自由を制限された。
 - c. 農奴は自由に結婚や相続を行うことができた。
 - d. 農奴には賦役と貢納の義務があった。

- ②封建的主従関係に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 封建的主従関係の起源のひとつに、ゲルマン人の従士制がある。
 - b. 主君は家臣に封土を与えた。
 - c. 家臣は主君に忠誠を誓い、軍事的奉仕などを行った。
 - d. 封建的主従関係は個人と個人の契約であり、世襲されることはなかった。
- ③中世ヨーロッパの農業に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 垣根のない開放耕地で農作業が行われた。
 - b. 牛馬に重量有輪犁を引かせることで、アルプス以北の重い土壌を深く耕せるようになった。
 - c. カブヤクローヴァーを利用するノーフォーク農法が普及した。
 - d. 耕地を秋耕地・春耕地・休耕地に3分し、年ごとに順に交代させるようになった。
- ④北ヨーロッパ商業圏に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. イギリスは主にフランドル地方から羊毛を輸入した。
 - b. 北ドイツの諸都市では海産物、木材、毛皮などが交易された。
 - c. ロンドンは北海貿易の拠点のひとつであった。
 - d. ブリュージュでは毛織物業がさかんであった。
- ⑤南と北の両商業圏の間に位置し、大市で有名なフランス東北部の地方はどれか。
- a. シャンパーニュ地方
 - b. ノルマンディー地方
 - c. ブルターニュ地方
 - d. ギュイエンヌ地方
- ⑥ギルドに関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 同職ギルドのもと、親方と職人・徒弟の間には厳格な身分序列が存在した。
 - b. 商人ギルドは自由競争を奨励し、商品の価格は市場によって決定された。
 - c. 同職ギルドの組合員になれたのは親方だけである。
 - d. フランスでは、革命時に国民議会によって廃止が決定された。

〔Ⅱ〕 次の文中の□に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

17世紀から18世紀のヨーロッパ社会では識字率が上昇し、書物や雑誌・新聞などの印刷物の刊行が増加した。それとともに様々な分野に対する知的探究心が、貴族や学者だけでなく①市民層にも見られるようになった。フランスでは18世紀半ばから□イらが編集した『百科全書』の刊行が始まるが、これは科学や技術、宗教や哲学に対する当時の知的関心の高まりを象徴するものといえよう。

知的関心の対象は芸術にも及んだ。例えば王室が所蔵する芸術作品の公開を求める声がこの頃に聞かれるようになる。フランスでは②ルイ15世の時代に王室コレクションの一部がリュクサンブール宮殿に集められ1770年代末まで一般公開された。その後、王室コレクションをルーヴル宮殿で公開する試みが旧体制下からフランス革命期にかけて断続的にすすめられた。③ルイ16世はルーヴル宮殿の改修工事を計画した際、美術館の開設も視野に入れていた。革命の混乱のなかで計画は遅延したが、1793年についてルーヴル美術館が開館する。フランス革命期の④対外戦争や⑤ナポレオン戦争の際には、戦地で接収された数多くの美術品がここに運び込まれた。こうした作品の多くは⑥復古王政下で返還を余儀なくされるが、その後「ミロのヴィーナス」が寄贈されるなどルーヴル美術館の所蔵作品は着実に充実していった。ナポレオンのイメージ戦略の一翼を担った画家□ロの「ナポレオンの戴冠式」もルーヴル美術館に収められている。

〔語 群〕

- イ a. ヴォルテール b. モンテスキュー c. ダランベール d. ルソー
ロ a. ドラクロワ b. ダヴィッド c. ゴヤ d. アングル

〔問 い〕

- ①17世紀から18世紀のヨーロッパの市民層に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. オランダの市民による注文でレンブラントの「夜警」が制作された。
 - b. 都市の市民層に支えられてスウィフト『ロビンソン=クルーソー』などの小説が生まれた。
 - c. イギリスのコーヒーハウスやフランスのカフェは、市民による世論形成の場でもあった。
 - d. 貴族だけでなく市民もまた外国貿易で輸入された茶や砂糖などを消費するようになった。

②ルイ15世統治下のフランスに関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 七年戦争でシュレジエン奪還を目指すオーストリアを支援した。
- b. フレンチ=インディアン戦争でイギリスに敗北した。
- c. プラッシーの戦いでイギリス東インド会社軍に敗れた。
- d. 1763年のパリ条約でイギリスにハドソン湾地方を譲渡した。

③ルイ16世に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 改革派のテュルゴーやネッケルを起用し財政改革を試みた。
- b. パリの民衆によるヴェルサイユ行進の結果、テュイルリー宮殿に移された。
- c. オーストリアへの逃亡を企てたが、ヴァレンヌで発覚して失敗した。
- d. 立法議会における裁判で処刑が決定された。

④フランス革命期の対外戦争に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. フイヤン派は政権を掌握すると、ピルニッツ宣言を行ったオーストリアに宣戦した。
- b. ヴァルミーの戦いで、フランス軍は初めてオーストリア・プロイセン連合軍に勝利した。
- c. フランス軍のベルギー侵入を受け、イギリスのピットは第1回対仏大同盟を呼びかけた。
- d. 国民公会は戦争に備えて30万人の募兵を実施した。

⑤ナポレオンに関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. エジプト遠征時にロゼッタ=ストーンが発見された。
- b. ブリュメール18日のクーデタで総裁政府を樹立した。
- c. 教皇ピウス7世と宗教協約を結んだ。
- d. 民法典を公布し、私有財産の不可侵など近代市民社会の原理を示した。

⑥復古王政に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. タレーランが王朝の正統性を主張し、ブルボン王家が復活した。
- b. ルイ18世が即位し、制限選挙制による立憲君主政がとられた。
- c. シャルル10世はアルジェリアに侵攻した。
- d. 六月蜂起により崩壊し、オルレアン家のルイ=フィリップが即位した。

〔Ⅲ〕 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

18世紀初頭に皇帝アウラングゼーブが死亡すると、① ムガル帝国 ではその息子たちの間で後継者争いが起こり、その後は短命の皇帝が続いた。ラージプートの王たちやムスリムの州長官など帝国の有力者たちは事実上独立し、ムガル帝国は衰退していった。

インドでムガル帝国の衰退が顕著となっていたころ、イラン高原では② アフガン人の侵入 により③ サファヴィー朝 が事実上滅亡し、混乱に陥っていた。そのなかから、トルコ系騎馬遊牧民出身のナーディル=シャーが イ を創始してイラン高原を平定し、その勢いのままにインドへと進軍した。ナーディル=シャーの暗殺後、イラン高原は再び不安定な状態となるが、18世紀末に④ カージャー朝 によって統一された。

ナーディル=シャーによる約2カ月にわたる中心都市 ロ の占領や、アフガン人の度重なる侵攻は、ムガル皇帝の権威の失墜につながった。アウラングゼーブの時代から反乱を起こしていた⑤ マラーター同盟 や シク教 が勢力を伸ばしたことも、ムガル帝国を解体に導いた。各地に有力な地方政権が割拠した状況下、そのなかの一勢力にすぎなかった⑥ イギリス東インド会社 は、諸勢力との戦いに勝利するなかでインドの植民地支配へとすすんでいく。

〔語 群〕

- イ a. トウグルク朝 b. ガズナ朝 c. ゴール朝 d. アフシャール朝
ロ a. カルカッタ b. デリー c. ゴア d. カーブル

〔問 い〕

- ①ムガル帝国期のインドに関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. バーブルがパーニーパットの戦いでサイイド朝を破り、ムガル帝国を建てた。
 - b. アクバルがヒन्दゥー教徒に課せられるジズヤを廃止した。
 - c. 貴族と官僚に序列をつけ、位階に応じて給与地と保持すべき騎兵・騎馬数を定めた。
 - d. モスリンやサラサなどがヨーロッパや日本に輸出された。
- ②アフガン人とアフガニスタンに関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. アフガン人の自称はパシュトゥーンである。
 - b. アフガン人は、18世紀半ばにドゥッラーニー朝を建国した。
 - c. 第1次アフガン戦争で、アフガニスタンはイギリスの保護国となった。
 - d. 1990年代半ばにターリバーンがアフガニスタンの政権を掌握した。

- ③サファヴィー朝に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 神秘主義教団の教主がトルコ系遊牧民の信者を率いて建国した。
 - b. イスマーイル派のシーア派を国教とした。
 - c. 生糸や絹織物の交易など、ヨーロッパ諸国との通商がさかんになった。
 - d. アッバース1世は、ホルムズ島からポルトガル人を駆逐した。
- ④カージャール朝に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. イギリスやロシアの経済的支配に苦しんだ。
 - b. バーブ教徒が反乱を起こした。
 - c. 商人やウラマーが中心となってタバコ=ボイコット運動を展開した。
 - d. 20世紀初頭の白色革命で国民議会が開設された。
- ⑤マラーター同盟やシク教に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. シヴァージーの建てたマラーター王国は、マラーター同盟の前身となった。
 - b. デカン高原を中心に、諸侯の連合体としてマラーター同盟が形成された。
 - c. シク教はパンジャブ地方のアムリットサルに総本山を置いた。
 - d. イスラーム教の影響を受けたナーナクが、シク王国を建てた。
- ⑥イギリス東インド会社のインド支配に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. カーナティック戦争でフランスを破り、南インドにおける優位を決定づけた。
 - b. ブクサールの戦いで、ムガル皇帝やベンガル太守の連合軍を破った。
 - c. マドラス管区では、領主層に土地所有権を与えて納税させた。
 - d. 19世紀前半に商業活動を停止し、統治機関となった。

〔Ⅳ〕 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

唐の滅亡に続く五代十国の戦乱の際にも比較的平穏であった江南では産業育成がはかられ、宋代以後には①農業生産の中心地となった。宋では商品作物の生産量も増大して、②商工業や③貨幣経済が発展した。宋朝の支配階層である文人官僚は、主として大規模な土地を所有して莊園を經營する④地主から輩出されたが、地主の世襲的継承は必ずしも安定せず、農民の大半は小規模自作農や小作農であった。このような経済的・社会的構造は元代以後にも受け継がれ、⑤明代には、小規模自作農に依拠する経済の確立を目指して、農業の保護育成が行われたが、商工業や貨幣経済が進展する社会の趨勢を押しとどめることはできなかった。16世紀後半、弛緩した財政の再建をはかる イ は、土地税や徭役を簡素化して銀納とする ロ の全国的施行などの改革を実施したが、政争による政治の混乱や財政の悪化から反乱が頻発し、明朝は⑥滅亡へと追い込まれていく。

〔語 群〕

- イ a. 張居正 b. 王安石 c. 司馬光 d. 王守仁
ロ a. 地丁銀 b. 一条鞭法 c. 戸調 d. 両税法

〔問 い〕

- ①宋代における農業に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 長江デルタ地帯の低湿地には堤防で囲った圩田や圍田がつくられた。
 - b. ベトナム方面から早生で日照りに強い占城稻が導入された。
 - c. 江蘇や浙江が華北をしのぐ穀倉地帯となった。
 - d. 華北では茶の栽培がさかんになり、重要な輸出品となった。
- ②宋代における商工業に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 北宋の首都開封では商業活動は西市と東市に限定された。
 - b. 草市と呼ばれる定期市が各地に立った。
 - c. 手工業者は作、商人は行という同業組合を形成した。
 - d. 醸造業などが都市を舞台として発展した。

③宋代から明代にかけての貨幣や通貨に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 宋では銅銭が大量に鑄造され、国外へも輸出された。
- b. 宋では手形として生まれた交子や会子が紙幣として使用された。
- c. 元では銀との兌換紙幣である牌符が広く流通した。
- d. 16世紀後半の明にはメキシコ銀が流入した。

④宋代の地主に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 江南を中心に台頭した新興の地主は形勢戸と呼ばれた。
- b. 地主に小作料を支払う小作農は官戸と呼ばれた。
- c. 地主などの子弟から、儒学などの教養を備える士大夫層が形成された。
- d. 地主の世襲的継承の不安定さの一因は、均分相続による家産の零細化にあった。

⑤明代における農業に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 桑や麻、綿花などの栽培が奨励された。
- b. 江南では施肥の普及などにより二毛作が進展した。
- c. この時期に発生した小作料の不払い運動は抗糧と呼ばれる。
- d. 徐光啓が『農政全書』を編纂して農業技術を集大成した。

⑥明朝の滅亡とその前後に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 東林派と、宦官勢力と結んだ非東林派との政争が激化した。
- b. 遼河の東で、明朝に対抗する女真が台頭した。
- c. 李自成が北京を占領し、崇禎帝が自害した。
- d. 顧憲成や黄宗羲らが、滅亡した明朝の復興を目指した。

〔V〕 次の文中の に最も適当な語を語群から選び、また下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

第二次世界大戦後、①ヨーロッパの西部では地域統合を目指す動きが活発化した。その背景には、冷戦の本格化とともにすすんだ②東西ヨーロッパの分断もさることながら、2度の世界大戦による深刻な荒廃と惨禍を繰り返さないという機運の高まりもあった。1947年に、アメリカ合衆国の国務長官であった イ によるヨーロッパ経済復興援助計画が発表されると、その影響を受けた西欧諸国から、地域統合によるヨーロッパの再生をはかろうとする動きが現れた。

まず1952年には③西ドイツとフランスを中心に他の西欧諸国も参加する④ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (ECSC)が発足し、その後の発展を経て1967年には⑤ヨーロッパ共同体 (EC)が成立した。当初、⑥イギリスは地域統合の動きに反発したものの、その後はこの動きに加わり、1973年にECに加入した。冷戦が終結すると、ヨーロッパは統合の動きをさらに加速させ、1993年にはヨーロッパ連合 (EU) が誕生した。2004年には ロ などの東欧諸国も加わり、その後も拡大して、共通の政治・外交・安全保障をうたう地域統合体として形成されていった。

〔語 群〕

- イ a. トルーマン b. ハル c. マーシャル d. ジョン=ヘイ
ロ a. セルビア b. スロヴァキア c. モンテネグロ d. アルバニア

〔問 い〕

- ①ヨーロッパにおける20世紀の文化に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. ピカソは、フォーヴィズム（野獣派）を代表する画家である。
 - b. トーマス=マンが『魔の山』を著した。
 - c. 哲学者のサルトルは、実存主義哲学を発展させた。
 - d. シュペンゲラーが『西洋の没落』を著した。
- ②東西ヨーロッパの分断に関する記述として、誤りを含むものはどれか。
- a. 東欧諸国は、人民民主主義に基づくソ連型の社会主義を採用した。
 - b. ソ連と東欧諸国は、ワルシャワ条約機構を発足させた。
 - c. 西欧諸国は西ヨーロッパ連合条約を締結した。
 - d. チェコスロヴァキアがコミンフォルムから除名された。

③西ドイツに関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. キリスト教民主同盟のアデナウアー首相が主導して、経済復興に成功した。
- b. 東方外交により、オーデル=ナイセ線を国境として認めた。
- c. 主権回復と同時に国際連合に加盟した。
- d. コール内閣の下で東ドイツを吸収して、ドイツ統一を達成した。

④ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. フランス外相のシューマンによって提唱された。
- b. 石炭・鉄鋼産業の共同管理を目指した。
- c. ルクセンブルクは原加盟国のひとつであった。
- d. マーストリヒト条約によってヨーロッパ経済共同体（EEC）へと発展した。

⑤ヨーロッパ共同体（EC）に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. イギリスと同時にアイルランドとデンマークも加盟した。
- b. 民主主義などを加盟の条件として定めた。
- c. 単一欧州議定書により、人間の移動や金融取引の域内自由化を定めた。
- d. 全加盟国の決済通貨としてユーロを導入した。

⑥イギリスに関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. アトリー政権は、「ゆりかごから墓場まで」といわれる福祉政策をすすめた。
- b. サッチャー政権は、「大きな政府」による財政支出を目指した。
- c. フォークランド（マルビナス）諸島の領有をめぐってアルゼンチンと戦った。
- d. イラク戦争では、アメリカ合衆国とともにフセイン政権を攻撃した。